

## ■ グループ紹介

# 株式会社浅沼組 技術研究所

## はじめに

当社の起源は、代々大和国郡山柳澤藩の普請方をつとめていた浅沼家が、廃藩後に大工の棟梁に転身して大和地方一円の社寺仏閣の造営や修繕に携わっていた明治25年1月、ときの棟梁浅沼幸吉が奈良県大和郡山にて建築請負業浅沼組を起こしたことに始まります。以後100有余年「誠実で堅実」な社風をもって建築施工実績を重ね、関係各方面から高い評価を頂くとともに、近年は官民、建築土木のバランスのとれたゼネコンとして活躍の場を広げています。

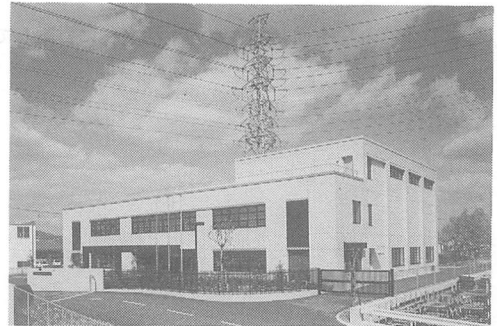
## 技術研究所

1987年、それまで個別に研究活動を続けてきた建築部門の技術研究室と土木部門の技術企画課を統合し、研究の総合的な強化を図るために技術研究所を設立、2年後には大阪府高槻市に建物が完成したことにより本格的な研究態勢による活動を開始いたしました。当研究所は、建築構造研究室、建築工法研究室、土木構造研究室、企画管理室および東京分室の5部門で構成され、スタッフは28名の研究員および管理部門員を含めて総勢33名。主な業務内容としては、基礎研究・応用研究を中心に新工法の開発を含めた研究活動と社内他部門との連携・技術支援活動です。より効率的な研究開発を図っていくために、営業部門を含めた現業の技術部門で構成される「技術関連部会」と緊密な連携を行うとともに、産官学の共同研究についても積極的な取り組みを続けています。以下、テーマに沿って当社の研究開発の一端を紹介させていただきます。

## 省エネルギー関連

### 屋上緑化システム「スカイグリーン工法」の開発

土を用いずにビルの屋上やベランダに自然の緑を提供する工法です。年々少なくなっていく都会の緑を増やしていきたいという想いから、汚れや重量に問題



技術研究所

のあった土の代わりに不織布を利用するという発想からこの工法は誕生しました。芝生だけでなく低木の植栽や花壇の設置なども可能、しかも施工が簡単な上に超軽量なので既存建物にも適用できます。新しい憩いと潤いの場を提供するとともに、太陽光線による屋上の照り返しや焼け込みを防止し、冷房負荷の低減による建物の省エネルギー効果を発揮します。

### 自動照明・空調システムの開発

当社が独自に開発した熱の変化を感知する赤外線センサー「ASLX」、静電容量の変化を感知する「フロアマットセンサー」などの人体検知センサーを利用して、照明設備・空調設備を自動的にON・OFFする省エネシステムです。

## 省資源関連

### ソイル芯材回収工法「ASCI工法」の開発

山止め工事のソイル柱列壁芯材（H鋼）を回収して資源の再利用を図る工法。芯材周辺に滑り材を塗布し、その上を保護材で覆い、引き抜き時の滑りが円滑に行えます。

### 作業所における省資源対策

各作業所における環境に配慮した産業廃棄物処理の適正化等、環境保全室との連携により取り組みを強化しています。

1. 減量化対策：簡易焼却炉，簡易破砕機，簡易空き缶処理機等の設置，PC工法・ハーフPC工法の採用
2. 再資源化対策：排出コンクリート塊の再利用，再生砕石の利用，掘削土の相互利用

#### その他の研究

建設廃棄物，残土などの処理方法と有効利用やコンクリートの再生利用技術などの研究を行っています。

#### 今後の研究開発コンセプト

“まちづくり”を通して人々の生活文化に貢献して

いくのが私たちの使命だと考えています。工事施工の合理化・省力化，社会問題化している地球環境保全対策，大地震に備えての免制震工法，耐震工法，さらには自然エネルギー利用技術の開発等々，人と都市と自然がやさしく調和し，ゆとりとやすらぎの中で『人』がいいきと輝くことができる時間と空間を創造していくために，私たちはさらなる研鑽を続ける決意です。

所在地 〒569大阪府高槻市大塚町3-24-1

(文責：技術研究所企画管理室長 若木 俊男)

#### 他団体ニュース

#### 資源処理学会第95回（平成7年度秋季）例会

### 「環境と資源リサイクル」開催ご案内

- <主催> 資源処理学会  
 <共催> 資源・素材学会 九州支部  
 <日時> 平成7年11月9日(休)～10日(金)  
 <会場> 九州大学国際ホール  
 (福岡市東区箱崎6-10-1 Tel 092-641-1101)

#### <内容>

- ・11月9日(休) 講演会
  - 1) 自動車スクラップのリサイクル
  - 2) 製鉄スラッグの有効活用
  - 3) 産業廃水のリサイクル
  - 4) 石炭灰と排煙脱硫スラッグの有効活用
  - 5) 都市廃棄物のリサイクル
  - 6) 地下水汚染の対応
  - 7) 環境問題を考えた材料開発

・11月10日(金) 見学会

A：北九州コース

B：大牟田コース

C：福岡コース

<参加費> 23,000円（非会員 25,000）

<参加申込締切> 11月1日(休) 事務局必着

<問い合わせ先>

「資源処理学会事務局」

〒602 京都市上京区下立売通小川東入

Tel 075-451-7081 Fax 075-415-3662